

病害虫発生予察注意報 第1号

富山県農林水産総合技術センター所長

斑点米カメムシ類の多発に注意！

斑点米カメムシ類の生息数が多く、斑点米被害の増加が懸念される。出穂後の本田防除の徹底が必要である。

◎病害虫名 斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ等）

1 発生地域：県下全域

2 発生程度：多い

3 注意報発令の根拠

(1) 8月1～2日の水稻病害虫定点調査の結果、水田内での斑点米カメムシ類の捕獲虫数は1.00頭で平年(0.69頭)より多い(表)。

(2) 特に、アカスジカスミカメ(写真1)の捕獲虫数が多く、畦畔・雑草地及び水田内のイネ科雑草等の穂が出ている地点で生息密度が高い傾向にある。

(3) 8月の気温は高いと予想されており、斑点米カメムシ類の発生や活動に好適である。

4 防除対策

<薬剤防除>

(1) 「コシヒカリ」等中生及び晩生品種では、穂揃期の防除を徹底する。

(2) 防除の際には、畦畔にも薬剤がかかるように散布する。

(3) クモヘリカメムシ(写真2)の発生の多い地域では、品種を問わず穂揃期と傾穂期の2回防除を行う。

(4) 散布後も水田内に斑点米カメムシ類が認められる場合は、追加の防除を確実に実施する。

<雑草対策>

(1) イネ科雑草の穂が斑点米カメムシ類の好適な餌となるので、草刈りの後も穂が出ないように管理する。やむをえず穂が出ている雑草を刈る場合は、本田薬剤防除の直前に行う。

(2) アカスジカスミカメは水田内のヒエ、ホタルイなどの雑草を好むので、水田内の除草に努める。

<留意事項>

※農薬散布にあたっては、事前に周辺住民等に対して十分な周知に努め、周辺作物や住宅地等への飛散防止を徹底するとともに、農薬の使用回数、使用時期(収穫前日数)等の基準を遵守する。

※養蜂が行われている地域では、農薬散布前に養蜂業者へ連絡するなど、ミツバチの危害防止対策に努める。

【参考資料】

◎ 斑点米カメムシ類生息密度調査結果

表 水稲病害虫定点調査【水田内】
(8月1～2日、すくい取り20回虫数)

	アカスジカスミカメ		アカヒゲホソドリ カスミカメ		トゲシラホシ カメムシ		クモヘリ カメムシ		合 計 (その他斑点米カメムシ類を含む)	
	確認 地点率(%)	頭数	確認 地点率(%)	頭数	確認 地点率(%)	頭数	確認 地点率(%)	頭数	確認 地点率(%)	頭数
本年	20.0	0.60	8.9	0.20	4.4	0.07	4.4	0.13	31.1	1.00
前年	13.3	0.22	8.9	0.13	8.9	0.11	0	0	24.4	0.40
平年	9.8	0.30	10.2	0.29	4.7	0.06	0.9	0.04	18.9	0.69

※調査地点数 45、平年値は過去 10 年間の平均

※その他の斑点米カメムシ類はホソハリカメムシが主体



写真1 アカスジカスミカメ成虫(体長約6mm)



写真2 クモヘリカメムシ成虫(体長約 16mm)

問合せ先 農業研究所 病理昆虫課
TEL076-429-5249 FAX076-429-2701